

# 赤い羽根



## 地域歳末たすけあい運動が はじまりました

コロナ禍だからこそ地域のつながりを大切にし、  
社会的孤立や生活困窮の課題を抱えた方々、  
自然災害により被災した方々への支援に

今年も、12月1日(火)から、地域歳末たすけあい運動がスタートしました。  
スローガンは、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」。共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア・NPO団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、**年末年始**に向けて支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て多様な福祉活動を展開するものです。特に今年ではコロナ禍による様々な課題にも、地域でつながり、支え合いながら取り組むことが重要です。

### 実施期間

令和2年 **12月1日** **火** ~ **12月31日** **木**

### 重点支援対象

- 社会的孤立や経済的困窮の状態にある方々
- 虐待、権利侵害など今日的な生活課題を抱えた方々
- 自然災害により被災した方々

### 協力方法

- 郵便振替(郵便局から、振替手数料無料で送金いただけます。)
- 共同募金会窓口を持参(市町村ごとに窓口があります。) ▶詳しくは、下記ホームページをご参照ください。

地域歳末たすけあい運動 ホームページ

<https://www.akaihane.or.jp/saimatsu/>

### 問い合わせ先

社会福祉法人中央共同募金会 運動推進部

TEL 03-3581-3846

Mail [info@c.akaihane.or.jp](mailto:info@c.akaihane.or.jp)

# 地域歳末たすけあい 事例紹介

## 外国につながる子どもへの学習支援活動

### 横内プロジェクト（神奈川県・平塚市）

#### ■約20年前に始まったプロジェクト

横内プロジェクトでは、毎週月曜日の夜に地域住民に開かれた学習の場を設けています。登録しているのは、現在約60名。子どもや大人、つながる国も様々で、「来たい時に自由に来て良い場」として20年以上に渡り活動を続けています。

活動名の一部にもなっている平塚市の横内団地は、外国にルーツがある家庭が多く、言葉や文化の違いによるさまざまなトラブルが生じたのがプロジェクト発足のきっかけでした。自治会のなかに“国連部”がつくられ、各国の代表者が、日々の生活についての問題や悩みについて話し合いをする場がつけられました。横内プロジェクトでは、自治会の国連部と協力しながら、①子ども教室（学習支援）、②日本語教室（大人向け）、③生活・教育相談の3つの活動を行い、自治会やボランティア、大学教員や学生などと協力しながら、ともに暮らしやすい地域づくりを進めてきました。



活動場所である横内団地集会所

#### ■子どもや家族の自立のために



学習会のようす

登録カード

活動発足時はインドシナ難民が中心でしたが、現在は多様化し、横内に移り住んでくる方の背景もさまざまです。ただ、必要とされるサポートは今も昔も大きく変わっていません。

教室には、高校受験のために来る子、友だちと会いに来る子、不登校だけれどなぜか教室には顔を出す子など、いろいろな子どもが集まってきます。特に小学校2、3年生で九九や漢字につまずくと、学校の勉強についていけないままになってしまい、就職や進学で苦勞することになります。大人のなかには、子どもの学校のプリントを読むために日本語を学びに来たり、定時制高校で学ぶための準備をするために通って来たり、学ぶ理由は違いますがみな意欲的で、生きようとする力にあふれています。横内プロジェクトでは、教室に来る人々の自立のためにサポートをすることを何よりも大切にしています。

#### ■団体の声

地域歳末たすけあいの助成金では、学習教材の購入と年末に体験行事を実施に活用させていただきました。学習教材は年々内容が変わっていくので、そのつど買い換える必要があります。また、体験行事では、昨年はみかん狩りと陶芸教室を実施しました。地域のお祭りも少なくなるなか、子どもたちが学校以外でつながりがあるのはとても貴重で、子どもたちも大変よろこんでいました。助成金をいただき本当に有り難く思っています。本当にありがとうございました。

